

# あるくモバ充

自給自足の電力、いざという時のパートナー

## ★プロジェクトの背景

○登山時の電気不足を解決したい

- ・写真や動画を撮るのに十分な電池が必要
- ・遭難した場合に備えて家族との連絡手段の確保が必須

⇒登山先では電気が通っていない

## ★現在の解決策

- ・太陽光を利用した発電方法でスマートフォンの充電

⇒天候に左右されてしまう

## ★解決法

○「あるくモバ充」を開発する

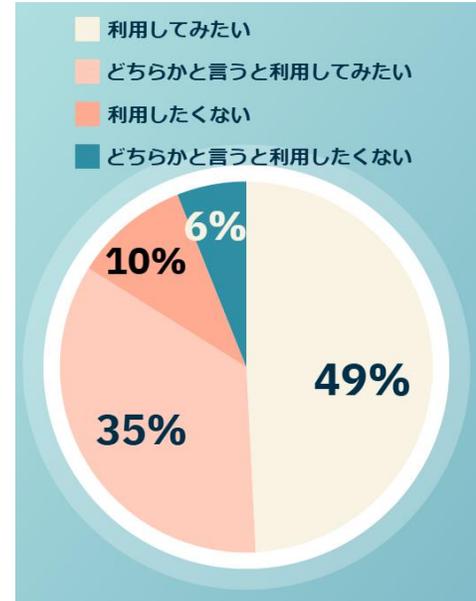
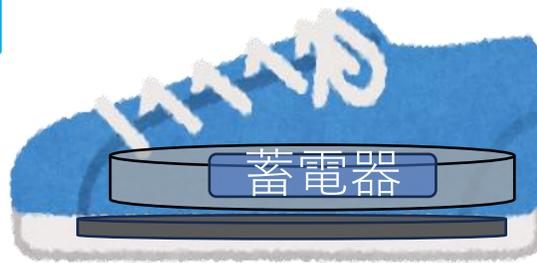
- ・圧電素子によって歩くときに靴にかかる圧力を電気に変換しその電力を靴底の蓄電器に蓄電する

・約6km歩くことでiphonのフル充電を可能にすることを旨す

・一足当たり+約300g

登山やハイキングをする幅広い世代の人、50人によるアンケート調査結果

## ★「あるくモバ充」イメージ



## ★類似品との比較(研究から製品化に至らなかった訳)

### Sole power

- ・カーネギーメロン大学の機械工学プロジェクト(U.S.A)
- ・近年研究が進められていない
- ・ターゲットである発展途上国のインフラが整っていなかった

### バブラーデバイス

- ・ウィスコンシン大学 機械工学の研究グループ(U.S.A)
- ・近年研究が進められていない
- ・一般的なモバイル充電器との差別化ができていなかった